



インクルーシブな学校 (共に学ぶ学校)

多様性を力に変え 自立と社会参加を目指す

教育目標

児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指し、たくましい生活力と心豊かな人間の育成を図る。

- ◎明るく元気な子ども
- ◎進んで学習する子ども
- ◎仲よくがんばる子ども

大笹生支援学校で育成を目指す資質・能力の実現

経営方針

本校は、

- 1、地域及び関係機関と連携して児童生徒の一人一人の特性を生かした能力を高め進路実現に向けた教育活動を進めます。
- 2、地域の特別支援教育を推進するためにセンター的機能を果たしていきます。

校長 植田 貴子

重点目標

一人一人の可能性や個性を伸ばし、キャリア発達の視点を持ちながら授業を実践し、児童生徒の自立と社会参加に必要な資質・能力の育成を目指す。
 ~「自立活動」「資質・能力の育成」「キャリア教育」「地域との連携・協働」を踏まえて、各学部の課題や強みを生かした実践と研修を行う~

I キャリア教育の推進

I (1) 【発達段階や実年齢に応じたキャリア教育の推進】

- (キャリア支援部・生徒指導部・いじめ防止対策委員会・保健部)
- ①キャリア教育全体計画やキャリアパスポートの効果的な活用
 - ②相手を思いやる丁寧な言葉遣いや態度の育成
 - ③規範意識の育成
 - ④発達段階に応じた「性に関する指導」の実施

I (2) 【進路指導の充実】

- (キャリア支援部)
- ①「社会参加」「働く意欲」の継続した指導
 - ②児童生徒一人一人に応じた進路指導の実施

I (3) 【保護者に向けた研修会の実施】

- (キャリア支援部・渉外部・教育支援部)
- ①「進路座談会」「事業所見学会」「保護者研修会」の実施

II 学びの変革の推進

II (1) 【資質・能力の育成】

- (教務部、研修部、情報教育部、カリキュラムマネジメント委員会)
- ①個別の指導計画や年間指導計画を基にした指導（各教科等における資質・能力、教科等横断的に身に付ける大笹生10の資質・能力の育成※参照）
 - ②ICT機器を効果的に活用した「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」の充実
 - ③教師の指導改善、児童生徒の学習改善のための評価の実施と教育課程の改善

II (2) 【自立活動の充実】

- (教務部、研修部、カリキュラムマネジメント委員会)
- ①各教科等と関連させた指導（年間指導計画一覧の活用）
 - ②個別の指導計画様式1（流れ図）による実態把握と中心課題、指導内容の設定
 - ③スタッフ会による評価と課題に応じた目標の検討

II (3) 【校内研修の充実】 (研修部、保健部)

- ①学校重点目標達成に向けた校内研究
- ②摂食指導研修会の実施

III 地域との連携・協働の推進

III (1) 【センター的機能の発揮】

- (教育支援部・公開研究会実施委員会・研修部)
- ①地域の学校等への研修・相談支援の実施
 - ②「公開セミナー」「公開研究会」による地域の特別支援教育の指導力向上への貢献

III (2) 【交流及び共同学習の充実】

- (教育支援部、各学部)
- ①社会性や豊かな人間性の育成
 - ②地域の一員として豊かに生活する基盤づくりとしての居住地校交流の実施
 - ③地域の人々との協働学習

III (3) 【地域への貢献】

- (渉外部)
- ①「ボランティア養成講座」「夏祭り」「PTA奉仕作業」の開催と実施

※参照 1 言語能力、2 人間関係形成・社会形成能力、3 問題発見・解決能力、4 自己理解・自己管理能力、5 情報活用能力、6 キャリアプランニング能力、7 健康・安全・食に関する力、8 多様性を尊重し他者と共生していく力、9 豊かなスポーツライフを実現する力、10 主権者として求められる力

大笹生支援学校の子どもたち一人一人のwell-beingの実現に向けて

I キャリア教育の推進

I (1) 【発達段階や実年齢に応じた

キャリア教育の推進】

- ① 「キャリア・パスポート」を活用し、自分のよさや強み、得意なこと、伸ばしたい力などを知り、自分の成長を振り返る学習を行います。
- ② 丁寧な言葉遣いや場面に応じたルール等の理解に向けて、教員が手本となり取り組みます。
- ③ 子どもたちの意思・考えを尊重します。
- ④ 発達段階に応じて、わかりやすい教材を活用しながら「性に関する指導」を行います。

I (2) 【進路指導の充実】

- ①ア 学級、学年、学部、児童会活動・生徒会活動、作業学習等を通して、自分の役割を意識できる活動に継続して取り組みます。
- ①イ 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の定着と健康な体づくりに取り組みます。
- ② 将来の目標に向け、学部に応じた進路指導、個々に応じた進路学習を行います。

I (3) 【保護者に向けた研修会の実施】

- ①ア 保護者のみなさんが、子どもたちと一緒に将来の姿・進路に向けて考える機会(見学会、研修会等)を設けます。
- ①イ 保護者のみなさんに向けた進路に関する情報を、わかやすく提供します。

II 学びの変革の推進

II (1) 【資質・能力の育成】

- ①ア 個別の指導計画や年間指導計画を基に、1時間1時間「何を身に付けさせたいのか」を明確にした授業を行います。
- ①イ 子どもたちの学び・理解につながる学習形態(個別・グループ別・集団等)を工夫しながら授業を行います。
- ①ウ 子どもたちへの問いかけを工夫し、子どもたちの思い・考えを引き出します。教師や子ども同士の対話を通して学び合う授業を行います。
- ② 場面に応じて、タブレット端末等のICT機器を活用し、子どもたちの学習の理解につなげます。
- ③ 子どもたちの学びの様子を、担任・担当で見取り、適切な評価と授業改善を行います。

II (2) 【自立活動の充実】

- ① 一人一人の実態把握から、自立活動の中心課題を明確にし、改善・克服に向けた学習を行います。
- ① 各教科等とも関連させて課題に取り組みます。
- ② 教員の考え・思いを、子どもたちの意見・考えに寄り添ったものとなるよう、対話を通して学習を行います。
- ③ スタッフ会において、子どもたちの姿を見取り、適切な評価と課題に応じた学習内容の検討を行います。

II (3) 【校内研修の充実】

- ① 子どもたちの学びにつながる教員研修を行います。
- ② 安心安全に向けた摂食指導の教員研修を行います。

III 地域との連携・協働の推進

III (1) 【センター的機能の発揮】

- ① 地域支援センター「ささっこ」を中心に、東北地域の幼稚園、こども園、小・中学校、高等学校等への、特別支援教育に関する研修・相談支援を行います。
- ② 地域のニーズに応じて、7月に特別支援教育研修会を開催します。
- ② 12月に公開研究会を開催し、本校の取り組みを地域に発信します。

III (2) 【交流及び共同学習の充実】

- ① 地域の学校との学習を行います。
- ② 居住地校交流を、計画的に行います。
- ③ 地域の人材・資源を活用した学習を行います。

III (3) 【地域への貢献】

- ① 特別支援教育理解を進めるために、高校生を対象とした「ボランティア養成講座」を開催し、学校行事や父母と教師の会行事等で活躍の場を設けます。
- ② 父母と教師の会と協力し、6月に奉仕作業、7月に夏祭りを開催します。

- ◆取り組みについては、「学校だより」「学級だより」「学年だより」等の各種だよりでお知らせします。
- ◆学校ホームページ・note(県教育委員会)でも発信します。

子どもたちが、“わかる・できる・楽しむ・成長する”を実感できる学校へ